

第6回 昭島市行財政運営審議会 議事要旨（案）

〔日 時〕 令和5年2月1日（水） 午後6時00分

〔場 所〕 昭島市役所 1階 市民ホール（一部オンライン開催）

〔出席者〕

1 委員

田中啓之会長、荒井康裕副会長、荒井浩委員、小池満也委員、
佐藤良絵委員、高橋靖和委員、立川眞一委員、藤森勉委員、山下俊之委員

2 事務局

永澤企画部長、淺利行政経営担当課長、小林企画調整担当係長、青木公共施設再編・調整担当係長

3 傍聴者

なし

〔配付資料〕

- ・第6回昭島市行財政運営審議会 日程
- ・**資料1** 昭島市中期行財政運営計画（素案）に係るパブリックコメントの結果について
- ・**資料2** 昭島市行財政運営審議会 答申（案）

〔議事要旨〕

2 議題

（1）昭島市中期行財政運営計画（素案）に係るパブリックコメントの結果について
事務局から資料により説明。

〈質疑応答〉 ◆は委員、○は事務局の発言要旨

◆ No. 2に関連した意見として、職員はゼネラリストとスペシャリスト、両方組み合わせて考えた方がいいということをご理解いただきたい。もう一点、No. 4で円高と円安の話が出ており、行政にどのような影響があるかを認識しておいていただきたい。

○ 職員のスペシャリストについて、福祉分野等において保健師等の専門職を配置している。ただ、技術職、保健師といった専門職は、募集しても集まらないことや、採用に至らないという問題がある。また、一概に専門職だけを配置した組織づくりというのではなく、なかなか難しいため、専門職の配置場所を考えながら、今いる職員を何年かの人事異動で動かすようにしているのが実情である。

円高と円安の関係について、円安に基づいて企業収益が少し上がり、法人市民税が多くなっていることから、行政が直接影響を受けるというよりも、企業が影響を受け、それに対しての企業の動きにより市税に反映される流れであると捉えている。

◆ 審議会の考え方が資料のとおりでよろしければ、議会の報告、ホームページの掲載の対応を

この形で進めていくということでおろしいか。

(各委員了承)

(2) 答申案について

事務局から資料により説明。

〈質疑応答〉

◆ パブリックコメントの意見によって修正していただき、ますます充実した計画となった。2つ意見があり、一点目は中期行財政運営計画の4つの基本方針を市役所の全職場、全職員が共有し、この方針に基づき職務に当たることを明記されたのは何よりである。

もう一点は、民間活力の積極的な導入という項目をしっかりと書いていただき、大変良いことである。今後も企業やN P Oといった知見を持ったところからお力やお考えを借りながら、市政に取り組んでいただきたい。

◆ 基本方針1から3にかけて、あらゆるところにDXの推進が書かれており、行政として積極的に取り組んでいくという姿勢が見られる。総合基本計画にDX関連の実施計画が8項目あり、令和4年度から令和8年度までハイフンとなっている部分がある。予算がなくてもできることがあると思うが、行政サービスを共通して取り組まなくてはいけない中で、予算化や取組内容がはっきりしていないので、状況等をお伺いしたい。

○ DXについては、本市においても、中期行財政運営計画においても、最重要項目ということを認識している。人口減少、超高齢社会が進展する中で、DXという視点から、ただ単なるデジタルの活用というよりは、業務改善、業務改革を信条としながら、デジタル化を活用していく。

総合基本計画の実施計画については、策定時に具体的な金額が算定できず、未定ということを載せていました。ただ、令和4年度から実施計画に基づきながら推進しているところである。

今年度で言えば、Web会議システムを既に導入しており、部課長連絡会議で利用した。今後、各出張所の窓口に設置して業務の対応ができないか、拡張を考えている。テレワークの環境は既に整備され、徐々に実施されており、AI・RPAの導入については、学童保育の入園手続きでの実証実験を始めている。実施計画にないところでは、公式LINEアカウントを導入し、友だち登録していただくと、市の情報が随時提供されるような取組を行っている。

令和8年度までの期間、デジタル化が本格化し、これを基軸に業務改善・業務改革が進み、それに伴って生み出された時間が、人員削減という方向ではなく、職員でなければできない業務、市民と直接の相談業務、市民の対応といった業務に当たられるような方向性を考えている。

◆ DXの推進というのは、職員のモチベーションともすごく密接な絡みがあり、とりわけこのデジタル化推進計画は新しい計画であり、歴史が浅い面もあるが、逆にやらなきゃいけないことでもある。従来型のPDCAサイクルじゃなくて、デジタル化推進計画にも掲載されているOODAを新しい取組とし、職員の共通認識として庁内で活発化していただきたい。

◆ 絵に描いた餅にしないように課長、部長を交えて職員が計画を読むようにしてほしい。窓口に行くと計画が職員に浸透していないこともある。計画を作つて終わるのではなく、作った計画を浸透させることによって、初めて活かされるものだと思われる。

○ 庁内の部課長連絡会議といったところでしっかりと周知していきたい。

◆ 最近企業のデータ改ざんが非常に多く、よく問題となっている。リスクマネジメントで考え

たときに一番問題なのは、社長が全て任せてしまうことである。市民サービスをいかに充実させるかということを前提に書かれているので、市長の強力なリーダーシップが必要であることを市長に言っていただきたい。

- 今回W e b会議システムにて全部課長が出席する会議を開いたが、市長の一つの考え方として、市長が話している考え方を、全課長が聞く機会をしっかり作るのも大事というのがあるので、徹底していただきたい。
- ◆ 答申案、答申方法は事務局の案でご了承いただけるということでよろしいか。

(各委員了承)

(3) その他

以下のことを説明し閉会とした。

- ・昭島市行財政運営審議会 答申日（会長対応）
令和5年2月10日（金）午前10時00分～ 市役所3階市長応接室にて
- ・答申が終了した時点で委員の任期が満了
- ・後日第6回議事要旨の確認依頼。